

景気動向調査結果

この調査は、県内中小企業の景況・金融動向を把握するため、当協会の保証を利用されている企業の皆様のご協力により、四半期ごとにアンケートを実施しているものです。

【調査方法】

Webによる無記名アンケート方式
調査時点 令和7年3月3日発送
令和7年3月14日回答期限
調査対象 信用保証利用先3,000企業
有効回答数 369 企業（回答率 12.3%）

※ 当期：R07年1月～3月実績見込

次期：R07年4月～6月期予測

※ 本アンケートは令和7年3月に実施したものであり、
4月に発表された米国関税措置の影響は反映しておりません。

【DI値について】

◎回答の各構成比を算出し、「増加」・「好転」等の
項目割合から「減少」・「悪化」等の割合を差引い
て算出しています

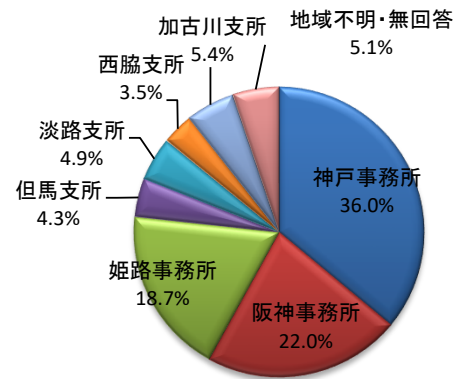
◎表示されている構成比とDI値は、四捨五入の関
係で必ずしも一致しません

兵庫県信用保証協会

I. 貴社の概要について

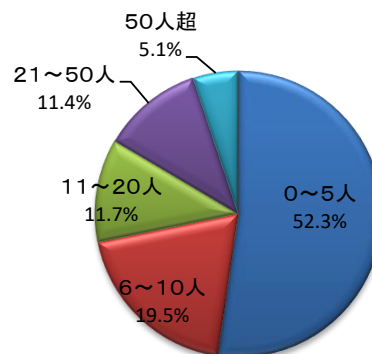
主たる事業所の所在地はどこにありますか。

当協会の部署	回答数	構成比
神戸事務所	133	36.0%
阪神事務所	81	22.0%
姫路事務所	69	18.7%
但馬支所	16	4.3%
淡路支所	18	4.9%
西脇支所	13	3.5%
加古川支所	20	5.4%
地域不明・無回答	19	5.1%
合計	369	100.0%



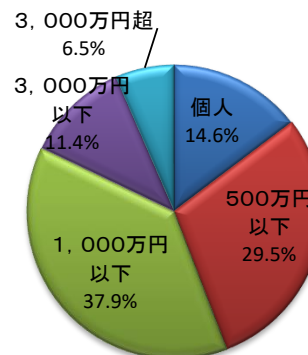
従業員数をご記入ください。

従業員数	回答数	構成比
0～5人	193	52.3%
6～10人	72	19.5%
11～20人	43	11.7%
21～50人	42	11.4%
50人超	19	5.1%
無回答	0	0.0%
合計	369	100.0%



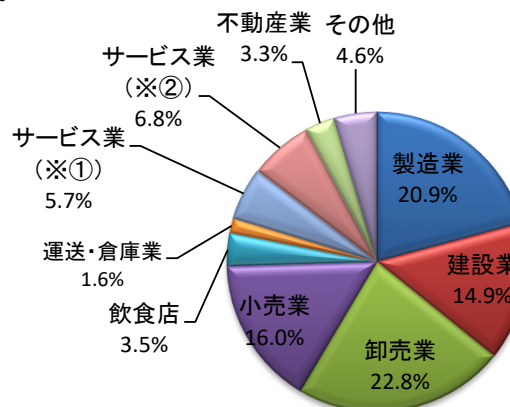
資本金をご記入ください。 ※個人は「0万円」と記入

資本金	回答数	構成比
個人	54	14.6%
500万円以下	109	29.5%
1,000万円以下	140	37.9%
3,000万円以下	42	11.4%
3,000万円超	24	6.5%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%



主要な事業は以下のどの業種に分類できますか。

業種	回答数	構成比
製造業	77	20.9%
建設業	55	14.9%
卸売業	84	22.8%
小売業	59	16.0%
飲食店	13	3.5%
運送・倉庫業	6	1.6%
サービス業(※①)	21	5.7%
サービス業(※②)	25	6.8%
不動産業	12	3.3%
その他	17	4.6%
無回答	0	0.0%
合計	369	100.0%



※① 事業者を対象

※② 一般消費者を対象

Ⅱ. 貴社の景況、借入難易感についてお尋ねします。

- (1) 当期(25年1～3月期)は、前期(24年10～12月期)に比べどのような状況ですか。
 (2) 次期(25年4～6月期)は、当期(25年1～3月期)に比べどう思いますか。

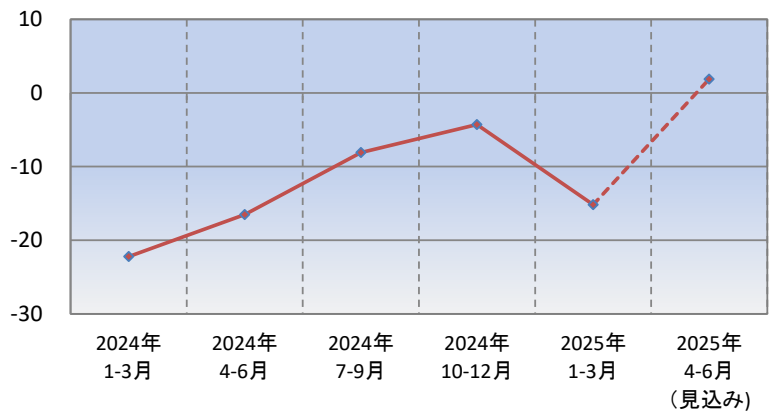
【生産・売上】

当期

選択肢	回答数	構成比
増加した	84	22.8%
変わらない	145	39.3%
減少した	140	37.9%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
増加すると思う	118	32.0%
変わらないと思う	140	37.9%
減少すると思う	111	30.1%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%



生産・売上DI(増加－減少)

調査時期(実績)	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月 (見込み)
兵庫県	▲ 17.6	▲ 7.3	▲ 12.6	▲ 7.7	▲ 22.2	▲ 16.5	▲ 8.1	▲ 4.3	▲ 15.2	1.9

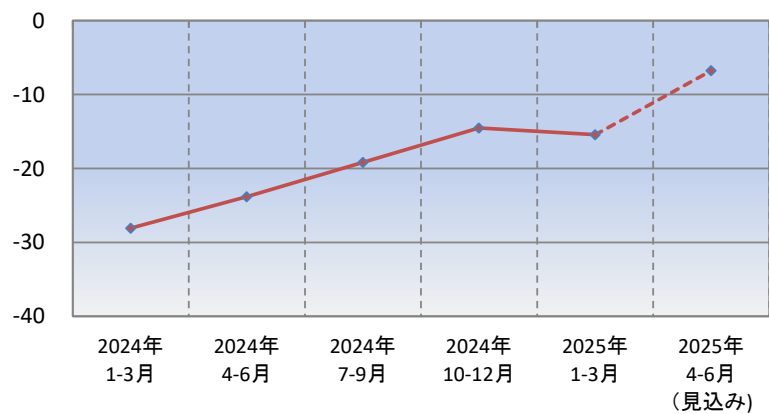
【採算】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	59	16.0%
変わらない	194	52.6%
悪化した	116	31.4%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	78	21.1%
変わらないと思う	188	50.9%
悪化すると思う	103	27.9%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%



採算DI(好転－悪化)

調査時期(実績)	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月 (見込み)
兵庫県	▲ 26.2	▲ 20.8	▲ 29.2	▲ 18.5	▲ 28.1	▲ 23.8	▲ 19.2	▲ 14.5	▲ 15.4	▲ 6.8

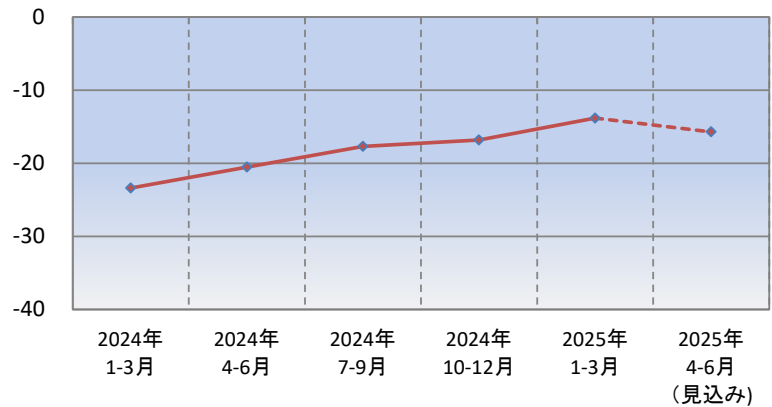
【資金繰り】

当期

選択肢	回答数	構成比
好転した	31	8.4%
変わらない	256	69.4%
悪化した	82	22.2%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
好転すると思う	35	9.5%
変わらないと思う	241	65.3%
悪化すると思う	93	25.2%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%



資金繰りDI(好転-悪化)

調査時期 (実績)	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月 (見込み)
兵庫県	▲ 23.9	▲ 20.5	▲ 21.6	▲ 21.0	▲ 23.4	▲ 20.5	▲ 17.7	▲ 16.8	▲ 13.8	▲ 15.7

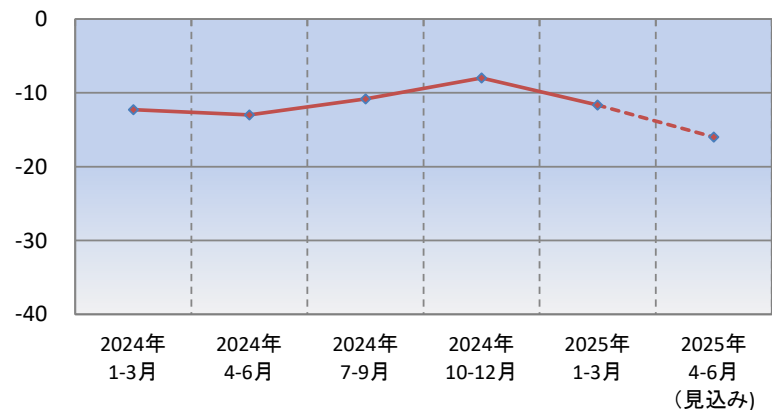
【借入難易感】

当期

選択肢	回答数	構成比
容易になった	21	5.7%
変わらない	284	77.0%
難しくなった	64	17.3%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%

次期

選択肢	回答数	構成比
容易になると思う	22	6.0%
変わらないと思う	266	72.1%
難しくなると思う	81	22.0%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%



借入難易感DI(容易-難しい)

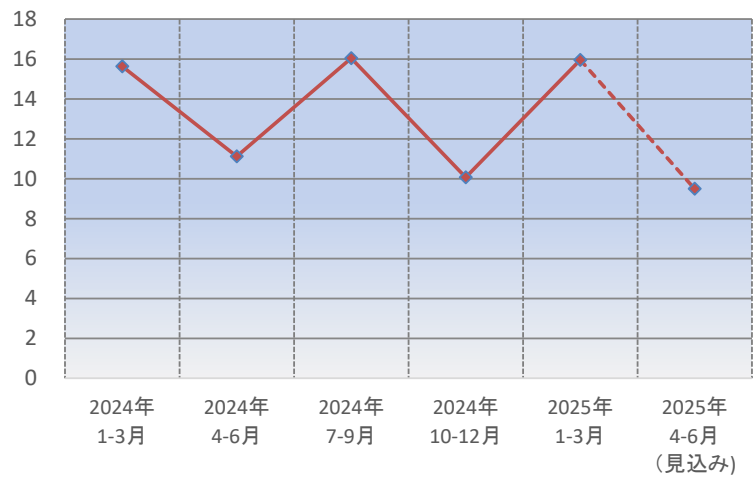
調査時期 (実績)	2023年 1～3月	2023年 4～6月	2023年 7～9月	2023年 10～12月	2024年 1～3月	2024年 4～6月	2024年 7～9月	2024年 10～12月	2025年 1～3月	2025年 4～6月 (見込み)
兵庫県	▲ 14.4	▲ 11.0	▲ 14.3	▲ 12.5	▲ 12.3	▲ 13.0	▲ 10.8	▲ 8.0	▲ 11.7	▲ 16.0

当期(1-3月)のDI値は、前期(10-12月)に比べ「資金繰り」において改善し、「生産・売上」「採算」「借入難易感」において悪化しました。
次期(4-6月)のDI値は、当期(1-3月)に比べ「生産・売上」「採算」において改善し、「資金繰り」「借入難易感」において悪化する見込みとなっています。

【金融機関からの信用保証付要請】

次期

選択肢	回答数	構成比
強まると思う	69	18.7%
変わらないと思う	266	72.1%
弱まると思う	34	9.2%
無回答	0	0.0%
総計	369	100.0%



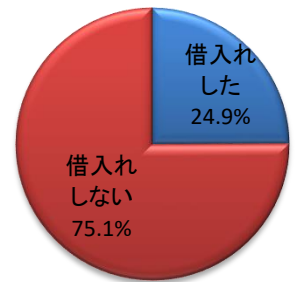
金融機関からの信用保証付要請は、「強まると思う」とする回答が、「弱まると思う」とする回答を上回っています。

Ⅲ.当期(25年1～3月期)の借入れ(実績見込)についてお尋ねします。

当期に金融機関から借入れをしましたか。
※手形の割引は含めません

	25年1～3月期		24年10～12月期	24年7～9月期	24年4～6月期	24年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
借入れした	92	24.9%	27.6%	24.8%	18.2%	19.6%
借入れしない	277	75.1%	72.4%	75.2%	81.8%	80.4%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	369	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

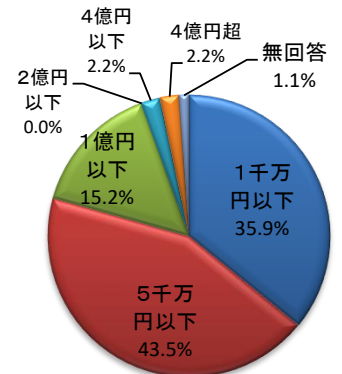
当期の借入れは、前回調査と比べ、2.7ポイント減少しています。



当期に借入れした総額はいくらですか。

	25年1～3月期		24年10～12月期	24年7～9月期	24年4～6月期	24年1～3月期
借入れ総額	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
1千万円以下	33	35.9%	37.1%	29.7%	24.7%	28.4%
5千万円以下	40	43.5%	48.5%	47.5%	53.2%	43.3%
1億円以下	14	15.2%	8.2%	19.8%	18.2%	22.4%
2億円以下	0	0.0%	4.1%	1.0%	0.0%	1.5%
4億円以下	2	2.2%	1.0%	1.0%	3.9%	3.0%
4億円超	2	2.2%	1.0%	1.0%	0.0%	1.5%
無回答	1	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	92	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

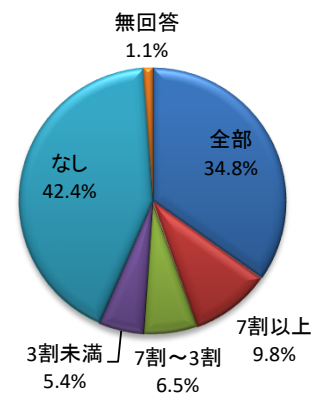
当期の借入総額は、前回調査と比べ「1千万以下」が1.2ポイント減少し、「5千万円以下」が5.0ポイント減少しています。



当期の借入金額のうち、信用保証付き借入れの割合はどのくらいですか。

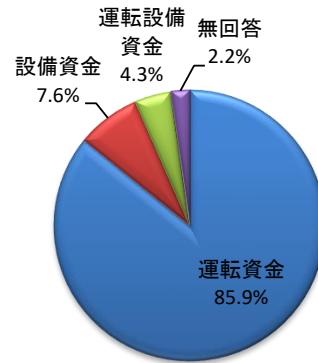
	25年1～3月期		24年10～12月期	24年7～9月期	24年4～6月期	24年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	32	34.8%	39.2%	33.7%	37.7%	34.3%
7割以上	9	9.8%	6.2%	5.9%	6.5%	10.4%
7割～3割	6	6.5%	9.3%	9.9%	10.4%	17.9%
3割未満	5	5.4%	3.1%	5.9%	7.8%	1.5%
なし	39	42.4%	42.3%	44.6%	36.4%	35.8%
無回答	1	1.1%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%
総計	92	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

信用保証付き借入れの割合は、前回調査と比べ「全部」とする回答が4.4ポイント減少しています。



当期借入金の目的は何ですか。

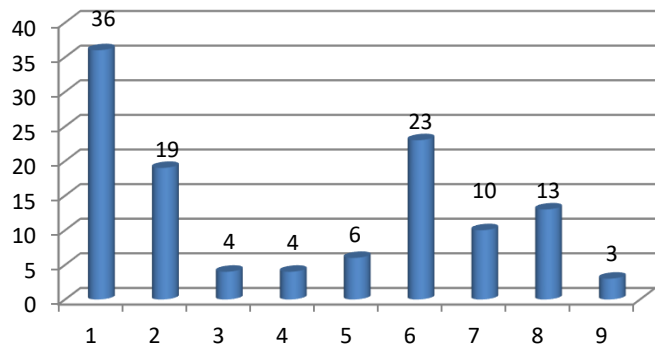
選択肢	回答数	構成比
運転資金	79	85.9%
設備資金	7	7.6%
運転設備資金	4	4.3%
無回答	2	2.2%
総計	92	100.0%



当期借入金の目的は、「運転資金」とする回答が大半を占めています。

上記で「運転資金」「運転設備資金」と答えた方は、運転資金の種類は何ですか(複数回答)。

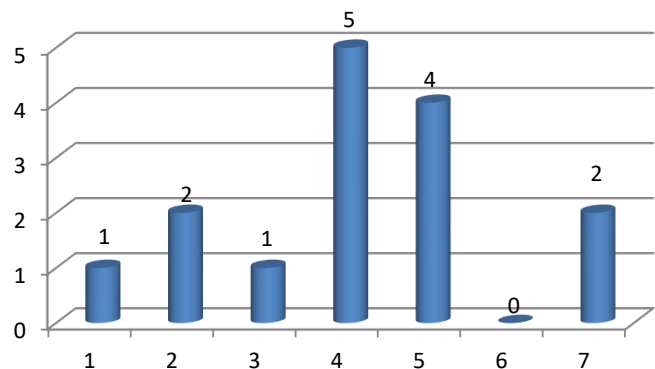
選択肢	回答数
1 既往借入の借換え	36
2 売上減少・赤字補填	19
3 過剰在庫対応	4
4 支払条件短縮対応	4
5 回収条件悪化対応	6
6 売上増加運転資金	23
7 在庫積み増し	10
8 季節運転資金	13
9 その他	3
総計	118



運転資金の種類は、「既往借入の借換え」が最も多く、次いで「売上増加運転資金」「売上減少・赤字補填」となっています。

上記で「設備資金」「運転設備資金」と答えた方は、設備資金の種類は何ですか(複数回答)。

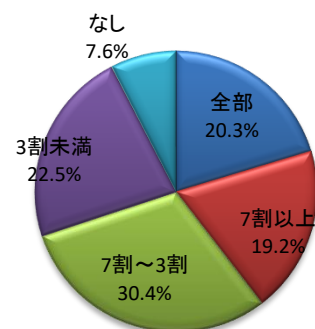
選択肢	回答数
1 新規事業	1
2 生産増強	2
3 合理化・効率化	1
4 設備老朽化に伴う入替	5
5 修理・修繕	4
6 公害防止・環境関連	0
7 その他	2
総計	15



設備資金の種類は、「設備老朽化に伴う入替」が最も多く、次いで「修理・修繕」となっています。

IV. 信用保証の利用についてお尋ねします。当期末(25年3月末)借入総残高に占める信用保証利用の割合はどのくらいですか。

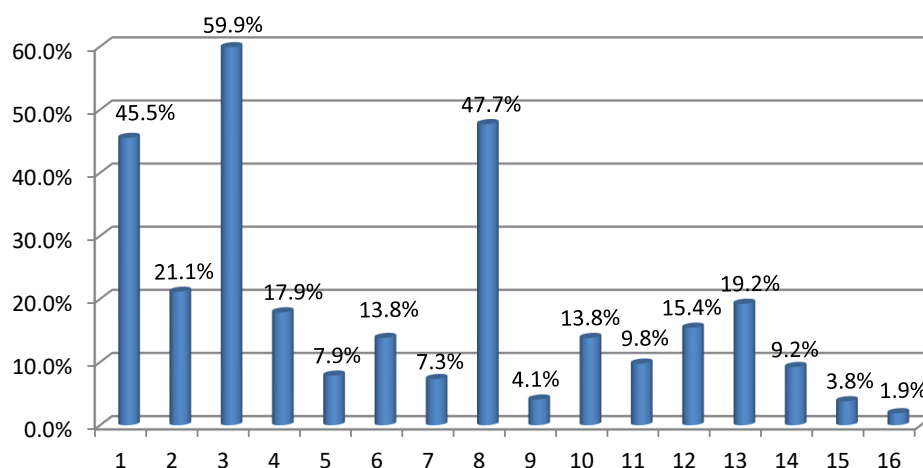
	25年1～3月期		24年10～12月期	24年7～9月期	24年4～6月期	24年1～3月期
選択肢	回答数	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
全部	75	20.3%	21.4%	16.2%	18.2%	16.7%
7割以上	71	19.2%	23.4%	23.1%	21.7%	24.6%
7割～3割	112	30.4%	29.9%	32.4%	29.5%	32.2%
3割未満	83	22.5%	16.0%	18.4%	22.9%	16.4%
なし	28	7.6%	9.4%	9.8%	7.8%	10.2%
無回答	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
総計	369	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



信用保証利用の割合は、「全部」「7割以上」「なし」とする回答が減少し、「7割～3割」「3割未満」とする回答が増加しました。

V. その他(経営上の課題等)について該当する番号をご記入ください(複数回答)。

選択肢	回答数	回答割合	選択肢	回答数	回答割合
1 売上・受注の減少	168	45.5%	9 過剰在庫	15	4.1%
2 競争激化	78	21.1%	10 設備投資	51	13.8%
3 コスト高	221	59.9%	11 後継者難	36	9.8%
4 業界構造変化	66	17.9%	12 資金調達	57	15.4%
5 取引条件の悪化	29	7.9%	13 借入過多	71	19.2%
6 消費者ニーズの多様化	51	13.8%	14 為替	34	9.2%
7 技術・商品開発	27	7.3%	15 海外景気の減速	14	3.8%
8 人材・労働力の確保	176	47.7%	16 その他	7	1.9%



経営上の課題については、「コスト高」「人材・労働力の確保」「売上・受注の減少」が群を抜いて上位となっており、次いで、「競争激化」「借入過多」「業界構造変化」の順となっています。